

政策調整会議の概要

開催日 平成 20 年 5 月 8 日（木）

◎項 目

- 1 国の施策等に対する提案・要望のフォローアップについて【東京事務所】
- 2 その他

◎内 容

1 国の施策等に対する提案・要望のフォローアップについて【東京事務所】

東京事務所より、要望のフォローアップについて（骨太の方針への対応）に関する資料を配布のうえ概要説明があり、意見交換を行った。

【説明概要】

- ・ 4月24、25日、国に対して提案・要望活動を行った。特に、24日には、知事が大田経済財政担当大臣ほか内閣府の関係者に対して、国の骨太の方針に高知県の実情を反映してもらうための説明を、「高知県の現状・課題、今後の取り組み」という資料をもとに行った。
- ・ 骨太の方針は、5月いっぱい本格的な審議が続き、6月の初めには骨子案が示され、6月中旬には原案ができる予定。今後は、それぞれの部局と東京事務所が連携して、骨太の方針をつくる内閣府の中心的な実務者に、本県の実状をできるだけ分かってもらうための取り組みをやっていききたい。
- ・ 具体的なアプローチの仕方として、今月中に、県から関係する副部長（東京事務所参事）と東京事務所が一緒に説明へ行くようにしたい。
- ・ 説明は、知事が説明した資料と必要な補足資料をもとにした説明を考えており、知事が大田大臣に説明したポイントとなる項目を中心に、実務者に説明を行い、できるだけ本県のことを理解してもらうための取り組みをまずやっていききたい。
- ・ それ以降は、東京事務所が、それぞれ説明をした実務者に接触を行い、必要な対応を順次やっていくことを考えている。

【主な意見】

- ・ 今年は、例年よりも早くから要望活動を行っているわけだが、例年であれば6月の初めに、知事要望、部長要望なりで行っている正式な形で、こちらから要望書を持って行っていくといった要望活動はどうするのか。→4月に行った提案要望の結果や、その後の各部局のフォローアップなども踏まえたうえで、6月に要望するかどうかは各部局に相談をさせてもらいたい。

【副知事】

- ・ 骨太の方針にどう書かれるかによって、来年度の国の予算編成が決まってくる。この骨太の方針に載ってないものは、だめということになる。教育の問題にしても、こんなに教育の地域間格差があるのだから、格差是正のためにも、重点的な予算配分を、あるいは人の重点的な配分をとかいうようなことが一文でも書かれることによって、それを取っかかりとして各省庁も予算要求はできるし、各省庁が予算要求したものに対して、高知県として予算要求ができるということになる。医師確保、道路整備にしてもそうだろうし、南海地震対策にしても、南海地震が東海地震並みの財政的な措置をとということが言えてくる。

- ・ 重要なのは、骨太の方針に高知県にとって有利になるような記述が、少しでも載るようにするために、どのようにすればよいかということを考えて、各部が対応していくということではないか。知事が大臣に言うてあるから、それでよしとするのではなく、実際の実務者にも具体的な説明とアピールをすること。

2 その他

- ・ 観光部より、ゴールデンウィーク期間中の観光客の動向等について説明があった。
- ・ 土木部より、道路特定財源の現在の動向について説明があった。
- ・ 各部局で、産業振興計画の全体会議、各部会において、どう産業振興、新たな産業成長戦略というものを計画、企画していくのかという大きな、それこそ骨太の方針のようなものを一定持って説明できるように準備しておくこと。自分たちが推し進めなければならない基本的な方針があるにしても、新たな視点、観点で考えた場合に、こういうような所に新たな光を当てて、新たな視点で取り組んでいく必要があるといったような、今後の基本的な戦略に対する論点と、生産・加工・流通・販売、それぞれの場面場面において、新たな観点で取り組むべき視点というものはきちっと提示されなければ、会議の進行に支障が出てくる。関係者に対するリサーチ、ヒアリングというのも自分たちの部門でやり、部内でもきちっと打ち合わせをして新たな視点、発想というものをどんな論点で、どう説明していくかの準備を十分やってもらいたい。(副知事)